

第 10 章 防災・交通安全

消防の現況・救急活動の推移
火災の発生状況
交通事故の発生状況
鹿追町の災害の記録
然別川の洪水(災害記録集より)

消防の現況

令和6年4月1日現在 消防署調

消防署・団 及び分団別	所在地	車両の状況（台）											水利の状況（基）				団員数の状況（人）									
		救急車	救急車（予備車）	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付水槽車	指揮広報車	器材運搬車	消防ポンプ自動車	積載車	人員輸送車	広報車	ホイールローダ	計	防火水槽	消火栓	防火栓	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	
消防署	西町3丁目10番地	1	1	1	1	1	1		1		1	8														
団本部	〃										0	17	48	14	79	1	1					1		2	5	
第1分団	〃			1				1	1		3								1	1	4	4	13	23		
第2分団	瓜幕東1丁目19番地			1				1			2	10	4	0	14				1	1	3	3	6	14		
第3分団	東瓜幕西16線24番地			1						1	2	2	0	0	2				1	1	3	3	7	15		
合計		1	1	4	1	1	1	1	2	1	1	15	29	52	14	95	1	1	3	3	10	11	28	57		

職員数の状況（人）			
消防司令長	1	消防副士長	0
消防司令	3	消防士	3
消防司令補	8	主事	
消防士長	3	合計	18

救急活動の推移（搬送人員）

消防署調

区 分	総 数	火災・水害	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	急 病	自損行為	転院搬送	その他	加 害	水 難
平成15年	179	-	16	1	4	31	84	-	41	2	-	-
平成16年	211	-	32	1	2	33	99	-	43	1	-	-
平成17年	206	-	19	2	2	16	107	1	55	4	-	-
平成18年	173	-	19	2	1	19	96	3	31	2	-	-
平成19年	186	-	18	2	-	25	99	2	39	1	-	-
平成20年	167	-	9	2	1	13	92	1	49	-	-	-
平成21年	178	-	12	4	-	30	92	2	37	1	-	-
平成22年	168	-	17	5	-	16	93	-	35	2	-	-
平成23年	163	-	15	3	-	20	97	1	27	-	-	-
平成24年	182	-	20	5	1	27	100	2	27	-	-	-
平成25年	180	-	15	5	6	13	102	-	39	-	-	-
平成26年	167	-	15	5	2	25	87	1	29	3	-	-
平成27年	195	-	10	3	1	28	108	4	34	6	-	1
平成28年	177	-	22	7	2	32	82	2	29	1	-	-
平成29年	211	-	27	4	4	23	113	2	38	-	-	-
平成30年	169	-	17	4	3	26	97	1	21	0	-	-
令和元年	204	-	20	3	5	39	106	2	27	2	-	-
令和2年	160	1	23	7	2	15	71	-	40	1	-	-
令和3年	166	-	18	3	1	33	78	2	29	2	-	-
令和4年	238	-	14	8	3	40	125	2	43	3	-	-
令和5年	196	1	11	10	2	35	98	4	33	1	1	-

火災の発生状況

消防署調

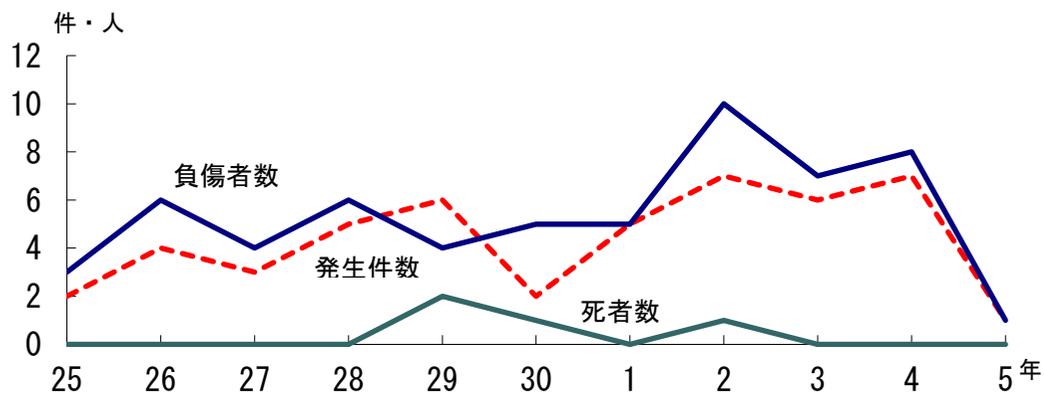
年	件数	原因別					計	焼棟数別				建・林・車・その他				羅災世帯数			死傷者			損害見積額（単位：千円）						
		失火	放火	火遊び	不明	その他		ぼや	部分焼	半焼	全焼	計	建物	林野	車両	その他	計	部分焼	全焼	計	死者	傷者	計	建物	林野	内容物	等（その他車両）	計
平成19年	9	6	-	-	2	1	9	-	1	1	2	4	3	-	3	3	9	1	2	3	1	-	1	13,473	-	2,995	1,919	18,387
平成20年	6	3	-	-	2	1	6	-	1	-	2	3	1	-	-	5	6	1	-	1	-	-	2,911	-	3,500	542	6,953	
平成21年	3	2	-	-	1	-	3	-	-	-	1	1	1	-	-	2	3	-	-	-	-	-	413	-	126	-	539	
平成22年	8	5	-	-	2	1	8	-	2	-	2	4	4	-	-	1	5	1	1	2	-	1	1	8,972	-	4,277	-	13,249
平成23年	5	3	-	-	1	1	5	-	1	-	-	1	1	-	-	4	5	-	-	-	-	-	662	-	-	-	662	
平成24年	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	3,475	-	2,489	-	5,964
平成25年	4	2	-	-	-	2	4	1	-	-	1	2	2	-	-	2	4	-	-	-	-	-	24	-	91	-	115	
平成26年	5	5	-	-	-	-	5	1	-	-	-	1	1	-	1	3	5	-	-	-	-	-	723	-	-	197	920	
平成27年	4	2	-	-	1	1	4	-	-	-	1	1	1	-	2	1	4	-	1	1	-	-	-	1,534	-	-	1,513	3,047
平成28年	3	2	-	-	1	-	3	1	1	-	1	3	3	-	-	-	3	1	-	1	-	-	-	989	-	2,028	-	3,017
平成29年	4	4	-	-	-	-	4	-	-	-	2	2	2	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	11,538	-	2,202	-	13,740
平成30年	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和元年	6	3	-	1	1	1	6	2	-	-	-	2	2	-	-	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	25	25	
令和2年	3	-	-	-	-	3	3	-	1	-	-	1	1	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	295	-	6,866	32	7,193
令和3年	5	4	-	-	-	1	5	-	1	1	4	6	4	-	-	1	5	1	1	2	-	-	-	4,740	-	681	-	5,421
令和4年	6	3	-	-	2	1	6	-	3	1	5	9	4	-	1	1	6	1	2	3	-	-	-	24,754	-	16,747	379	41,880
令和5年	4	1	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	216	216

交通事故の発生状況

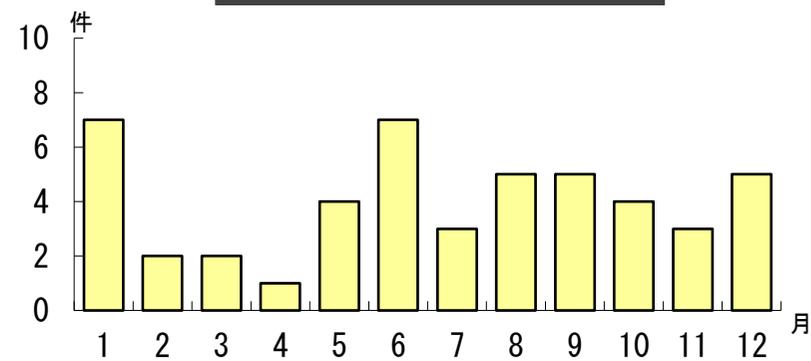
町民課調

区 分	発生件数	死傷者数	月 別 発 生 件 数														
			死者数	負傷者数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
平成25年	2	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
平成26年	4	6	0	6	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
平成27年	3	4	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
平成28年	5	6	0	6	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0
平成29年	6	6	2	4	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0
平成30年	2	6	1	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
令和元年	5	5	0	5	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
令和2年	7	11	1	10	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1
令和3年	6	7	0	7	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
令和4年	7	8	0	8	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	2	0
令和5年	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

交通事故の推移



平成25年～令和5年の月別合計 交通事故発生数



鹿追町の災害の記録

資料：鹿追町史、農業振興課、町民課（令和6年4月末現在）

- 本町における過去の災害の状況は下記のとおりですが、昭和39年に発生した山火事以外はいずれも自然現象によるもので、農業・土木等各方面で大きな被害を受けています。
特に、昭和56年8月の豪雨（総雨量351^{mm}）は、開町以来の大きな災害となりました。

年 月 日	種 別	地 域	被 害 状 況
大正8年	水 害		大洪水により河川氾濫
大正11年	水 害	下鹿追	大洪水により紅葉橋、鹿追橋流失
昭和5年	強 風	全 町	甜菜・えん麦等445町歩、被害総額13,497円55銭。特に上然別、美蔓、幌内地区の被害甚大
昭和6年	冷 害	全 町	農作物冷害により大凶作
昭和7年	冷 害	全 町	農作物冷害により大凶作
昭和9年	冷 害	全 町	農作物冷害により大凶作
昭和11年9月11日	台 風	全 町	
昭和16年	冷 害	全 町	冷害により凶作
昭和25年4月24日	山火事	国有林	300町歩焼失
昭和25年8月2～3日	水 害	全 町	降雨量（2～3日）124.95 ^{mm} 。然別川、幌内川氾濫。被害総額846万円
昭和27年3月4日	地 震	全 町	午前10時23分、震源地襟裳岬沖70km
昭和28年	水 害		浸水家屋50戸、被害総額2億7,000万円
昭和29年5月10日	暴風雨	全 町	家屋の全半壊141戸、畑作被害1,053ha、3,800万円、家畜被害額1,132千円外被害総額1億7,336万2千円、最大風速32m
昭和29年9月26日	台 風	全 町	台風15号（洞爺丸遭難）
昭和29年	冷 害	全 町	
昭和30年7月	豪 雨	全 町	
昭和30年8月10日	落 雷	上然別	落雷により家屋1戸と美蔓電力利用組合変電所全焼

年 月 日	種 別	地 域	被 害 状 況
昭和31年	冷 害	全 町	冷害により大凶作(開基以来初めての冷害対策本部が設置される)
昭和32年5月	水 害	笹川・下鹿追・ 上然別	然別川氾濫(笹川～下鹿追～上然別地区315町歩)
昭和34年9月10日	台 風	全 町	台風14号
昭和34年9月27日	台 風	全 町	台風15号
昭和36年7月	豪 雨	全 町	
昭和37年6月29日	降 灰	全 町	十勝岳爆発降灰被害
昭和37年8月4日	台 風	全 町	台風9号、10号(瓜幕橋、笹川橋流失)、被害総額8,500万円以上
昭和39年4月2日	水 害	全 町	融雪出水による水害
昭和39年5月21日	山火事		自衛隊然別演習場より発火、国有林280ha焼失、2,800人出動
昭和39年6月4日 昭和39年8月24～25日	水 害	全 町	長期降雨(100 [㍉])により床下浸水16戸、冠水568ha、河川2ヶ所、橋梁3ヶ所、被害総額4億2,400万円
昭和39年6月	降ひょう	中鹿追・北鹿追	降ひょうによる被害総額1億8,800万円
昭和39年	冷 害	全 町	冷害による凶作、低温冷害対策50%以下被害農家500戸を超える
昭和40年9月17日	台 風	全 町	台風23号、河川2ヶ所、橋梁2ヶ所、冠水480ha、被害総額2,000万円
昭和41年10月28日	豪 雨	全 町	豪雨による被害総額5,700万円
昭和41年	冷 害	全 町	被害総額3億2,000万円
昭和42年4月19日	水 害	全 町	融雪災害、瓜幕橋付近道路欠損1ヶ所
昭和42年8月27日	水 害	全 町	冠水112ha、被害総額200万円
昭和43年8月3日	豪 雨	全 町	河川4ヶ所、道路欠損1ヶ所、被害総額100万円
昭和44年2月1～6日	豪 雪	全 町	死者1名、農業施設51万円、商業施設160万円、積雪196cm(2月1日～6日)、交通機関麻痺
昭和44年5月6日	強 風	全 町	農作物170ha、被害総額1,000万円

年月日	種別	地域	被害状況
昭和45年1月31日	豪雪	全町	家屋全半壊41戸、牛乳等被害総額600万円、1月低気圧災害(1月31日～2月1日)734万円
昭和45年3月16日	豪雪	全町	家屋全壊2戸、牛乳等被害総額670万円、二つ玉低気圧災害豪雪(3月16日～18日)、3月降雪量148cm、除雪費800万円、(17日には猛吹雪となり25日まで三交代で連日連夜の除雪作業が続いた。)
昭和45年8月7日	降ひょう	中瓜幕・東瓜幕	農作物230ha、被害総額110万円
昭和46年1月22日	豪雪	全町	
昭和46年	冷害	全町	冷害による凶作
昭和47年2月28日	豪雪	全町	家屋全壊11戸、牛乳等被害総額330万円
昭和47年9月15日	台風	全町	台風20号(1日の降雨量133 ^{ミリ})、浸水面積561ha、畑の浸水414ha、浸水家屋104戸、橋の流失破損20橋
昭和50年3月22日	豪雪	全町	1日の積雪70cm
昭和50年5月17～19日	水害	全町	融雪、道路8ヶ所、被害総額1,770万円外
昭和50年8月24日	豪雨	全町	冠水50ha、道路欠損11ヶ所、被害総額740万円
昭和50年10月21日	強風	市街	家屋全壊1戸、被害総額299万円
昭和52年4月19日	強風	全町	家屋全半壊4戸、農業施設160ヶ所、被害総額247万円
昭和53年8月23日	降ひょう	全町	農作物575ha、被害総額4,981万円
昭和54年9月10日	降ひょう	上・下幌内、 笹川、北鹿追	農作物2,172ha、被害総額1億2,944万円
昭和55年3月11～12日	強風	全町	農業施設165ヶ所、被害総額228万円
昭和55年	冷害	全町	
昭和56年8月3～6日	豪雨、台風	全町	台風12号、総雨量351 ^{ミリ} 、床上浸水46戸、床下浸水467戸、農地流失53.8ha、農地冠水6,355ha、河川決壊101ヶ所、橋梁欠損5ヶ所、道路欠損63ヶ所、林業被害6ヶ所、商業被害10ヶ所、総被害額198億43,277千円、(陸の孤島となった「ホテルかんの」に取り残された宿泊客の救出に自衛隊のヘリコプターが出動)

年月日	種別	地域	被害状況
昭和56年8月23日	台風	全町	台風15号、家屋一部破損4戸、農作物2,757ha、林業被害183ヶ所、商業被害13ヶ所、被害総額3億5,164万円
昭和57年7月20日	降ひょう	西上幌内	農作物20.6ha、被害総額105万円
昭和57年9月13日	台風	全町	台風18号、農作物774ha、被害総額5,051万円
昭和58年	冷害	全町	農作物10,384ha、被害総額24億6,330万円
昭和59年5月3日	水害	全町	道路欠損2ヶ所、河川決壊1ヶ所、被害総額2,267万円
昭和60年5月3日	山火事	オソウシ	約1ha焼失
昭和60年6月15日	降霜	全町	農作物705ha
昭和60年6月21日	山火事		然別国有林121林班3小班 約1ha焼失
昭和62年9月1日	強風	全町	農作物倒伏472ha
昭和63年4月19日	水害	上然別	大雨による融雪、農業用施設被害総額5,300万円
昭和63年5月12日	豪雨	全町	農作物約30ha200万円、土木被害9件1,400万円、被害総額1,600万円
昭和63年11月25日	大雨	全町	雪を伴う大雨、農業用施設(明渠)450万円、営業用施設(ビニールハウス)300万円、路盤流失50万円被害総額800万円
平成元年6月30日	豪雨	西上幌内、美蔓	農業用施設4,000万円、農地被害7,000万円、被害総額1億1,000万円
平成4年8月10日	台風	全町	道路欠損4ヶ所、被害総額51,798千円
平成5年1月15日	地震	全町	マグニチュード7.8(釧路沖南10km、釧路震度6、帯広震度5)、農林被害6,550千円、商工被害65ヶ所11,000千円、道路被害13ヶ所6,400千円、ゴミ焼却施設3,000千円、被害総額27,609千円
平成5年	冷害	全町	農業被害11億64,000千円
平成6年4月4日	雪崩		道道(然別湖線)一時通行止め
平成6年9月14～26日	長雨	全町	農作物被害555.48ha、被害総額5億47,525千円
平成8年5月9～10日	大雪	全町	農業被害(ビニールハウス8棟648千円、アスパラガス5.3ha100千円)、被害総額748千円
平成8年	低温及び日照不足	全町	農業被害総額12億64,000千円

年月日	種別	地域	被害状況
平成10年8月27～29日	大雨	全町	崖くずれ1ヶ所
平成10年9月16日	台風	全町	農作物被害1,490ha、被害額1億33,070千円、家屋一部破損1,350千円、林業被害111ha、被害額1億79,520千円、被害総額3億13,950千円
平成11年5月5日	大雨	道道然別峡線 (国有林136林班)	土砂くずれ1ヶ所
平成12年1月	大雪	全町	農業施設被害(ビニールハウス、乾燥庫等17棟)、被害額21,823千円
平成12年4月	雪害	全町	秋まき小麦6.72ha、被害額4,554千円
平成12年5月17日	集中豪雨	瓜幕、中瓜幕	住宅周囲浸水(物置・車庫)・農地冠水8.98ha、農作物被害7,693千円、農業施設被害1,171千円、被害総額8,864千円
平成13年3月4日	大雪	笹川・北鹿追	農業用施設被害2ヶ所、被害額450千円
平成13年9月10～13日	台風	全町	台風15号、道路法面土砂くずれ1ヶ所、被害額3,000千円、農地冠水24.2ha
平成13年9月22,23日	降霜	全町	農作物648.14ha、被害額17,280千円
平成14年1月21,22日	大雪	全町	農業施設被害(ビニールハウス38棟を含む全45棟)、被害額31,408千円
平成14年6月11,12日	強風	全町	農作物(豆類)162.96ha
平成14年10月1～2日	台風	全町	台風21号、土砂くずれによりかんの温泉一部破損1,410千円、農地冠水11.4ha、8,200千円、農業用施設被害41ヶ所7,200千円、河川決壊2ヶ所1,040千円、道路欠損15ヶ所34,320千円、林業被害20.42ha9,800千円、その他被害2,470千円、被害総額64,440千円
平成15年8月9日	台風	全町	前線及び台風10号により降水量145mm、農業被害5.8ha、4,580千円、道路欠損4ヶ所17,100千円、被害総額21,680千円
平成15年9月26日	地震	全町	平成15年十勝沖地震(マグニチュード8.0「暫定」午前4時50分発震、鹿追震度6弱を観測、負傷者3名)、営農施設100千円、道路被害2ヶ所、5,010千円、水道施設600千円、火葬場被害420千円、商業被害等29ヶ所、4,560千円、小学校2ヶ所50千円、社会教育施設4ヶ所710千円、その他被害4ヶ所380千円、被害総額11,840千円(平成15年10月末現在確定額)
平成15年	冷害	全町	農業被害総額125,628千円

年月日	種別	地域	被害状況
平成16年8月31日	台風	全町	
平成16年9月8日	台風	全町	台風18号、住家1棟、社会教育施設2棟、その他、被害額250千円、農業施設被害31ヶ所10,848千円、被害総額11,098千円
平成16年12月4～5日	大雪	全町	ビニールハウス1棟、50千円
平成17年9月7日	台風	全町	台風14号、道道鹿追糠平線道路欠損30,000千円、町道11ヶ所、875千円、北岸野営場水源地給水タンク埋没250千円、普通河川ヤンベツ川擁壁崩壊2ヶ所13,000千円、被害総額44,125千円
平成18年3月20日	暴風	全町	営農施設7ヶ所、450千円
平成18年8月18日	大雨	全町	農作物0.1ha、被害額200千円、道道然別峡線道路欠損9,000千円、町道10ヶ所(砂利流出等)2,340千円、ふ化場水源地水没50千円、ふ化場汚水流入10千円、北岸野営場給水タンク破損600千円、西上幌内川水道管流出135千円、かんの温泉床上浸水1,500千円、ライディングパーク砂流出660千円
平成19年1月7日	暴風雪	全町	全町長期停電、牛乳の減量等被害4,000千円、牛舎・ビニールハウス11棟破損4,000千円、森林被害0.7ha800千円、スキー場ネットフェンス破損588千円、その他公共施設物置・屋上アンテナ・倒木等1,080千円、被害総額10,468千円
平成20年5月28日	降霜	全町	農作物14ha、被害金額約1,400千円
平成21年6月～8月	冷害	全町	小麦、てん菜など農業被害総額 370,000千円
平成22年4月～5月	低温・多雨	全町	小麦、てん菜など農業被害総額 773,000千円
平成22年6月～8月	猛暑		
平成23年9月	台風	全町	台風12号、法面崩壊6ヶ所、土砂流出2ヶ所、路肩崩壊2ヶ所、明渠陥没1ヶ所、その他被害額6,660千円
平成28年8月17～31日	台風	全町	台風7号、農作物被害94.1ha(スイートコーンほか)、牛舎屋根の損害2棟 台風11号・9号、農作物被害5.11ha(馬鈴薯ほか) 台風10号、農作物被害168.41ha(馬鈴薯ほか) 27.9ha(スイートコーンほか)
平成29年9月18日	台風	全町	農作物被害1,007ha(デントコーン)

年 月 日	種 別	地 域	被 害 状 況
平成30年3月1～4日	暴風雪	全 町	1日6時14分大雪警報発令(1日朝から2日かけて52cmの降雪) 2日午後国道274号線鹿追市街から笹川ショッピング付近までホワイトアウトにより、車両数十台立ち往生(2日15時30分から3日15時00分まで通行止め) 扇原展望台付近で雪崩発生で通行止め 町道4号、7号など幹線道路を含む美蔓、上然別、鹿追、笹川、瓜幕、北鹿追地区などほぼ全地域で吹雪で交通網がマヒする 2日から3日にかけて、役場避難所で3名宿泊、その他立ち往生車両の救助多数
平成30年6月28日～7月8日	長雨	全町	農作物被害133ha(馬鈴薯)
平成30年9月5日	強風	全町	農作物被害2.8ha(スイートコーン)
平成30年9月6日 午前3時07分	地震	全 町	平成30年北海道胆振東部地震(マグニチュード6.7)鹿追震度4を観測 厚真町鹿沼で震度7 胆振地方を中心に死者42人負傷者762人、住家全壊462棟 強振動によって厚真町を中心に広い範囲でがけ崩れが発生 厚真町では土砂崩れに巻き込まれ36人が死亡した 幸い鹿追町では、地震による人命、家屋被害などは無かった 畜産物被害21.8t(生乳)、家畜被害126頭(乳房炎)
平成30年9月6～8日	停電 ブラックアウト	全 町 (全 道)	北海道胆振東部地震により、苫東厚真火力発電所ボイラーが破損により緊急停止。 これにより連鎖的に他の発電所も停止したことにより、鹿追町を含む道内全域で停電となり北海道電力創設以来初の出来事となる。 鹿追町は、6日午前3時25分から全地域が停電となり7日午前1時30分に一部地域が通電したものの全地域での復旧は8日午前0時12分頃まで続いた。 停電の影響により、鹿追町では、避難所を開設:役場研修室2人、町民ホール和室5人(福祉避難所) 電源供給:携帯電話充電600人、タブレット40人、炊飯器75人 臨時給水所:利用者50人 入浴無料開放:トリムセンター50人利用 教育:町内全小中高臨時休校(6・7日) 農業被害:生乳廃棄・生乳生産の減収など19,283千円。商業被害:ホテル風水宿泊客キャンセルなど20,185千円。建設部門:発電機借り上げなど1,257千円。教育・福祉部門:学校給食原材料廃棄など355千円。医療部門:発電機燃料など27千円。その他:職員時間外など2,123千円 合計43,230千円の被害をもたらした。
令和3年2月16日	強風	全町	営農施設17ヶ所、1,750千円
令和4年1月12日	大雪	全町	営農施設6ヶ所、2,000千円

年 月 日	種 別	地 域	被 害 状 況
令和4年8月16日	豪雨	全町	法面崩壊、土砂流出など 9,600千円

然別川の洪水

災害記録集より

■ 昭和56年8月豪雨災害 ■

昭和56年8月3日から6日にかけての豪雨は、本道上空にさしかかった寒冷前線と太平洋高気圧、それに北上してくる台風12号が三者一体となってもたらした典型的な夏型豪雨である。

然別川流域に4日夜半から降り始めた雨は、5日の5時には、時間雨量26ミリを記録し、同日9時には5ミリ／時と一時的に下降したが、同日11時再び上昇し、15時には、34ミリ／時に達し、これを最高に6日早朝まで降り続いた。総雨量は、351ミリ／3日、日雨量322ミリ／日となり、当地方観測始まって以来の記録となった。

然別川は5日早朝から水位の上昇が始まり、9時ころ鹿追町南区で畑への冠水が始まった。

また、同日12時ころ、上流未改修区間からはんらんが始まり、西瓜幕地区住民の避難が開始された。同日16時には、自然ランドのキャンプ場が押し流され、夜にかけ本川は更に増水を続け、5日夜半から6日未明にかけ、改修区間の堤防決壊、更に本別へ通じる道路、橋梁が崩壊被災したために外部との交通がほとんど遮断され、近年にない激甚な被害となったのである。

助成区間のうち14カ所が破堤、河岸決壊は助成区間の全延長の70%に当たる約35キロ(左右岸)にも及び、床上浸水41戸、床下浸水463戸、農地4,368ha等、激甚な被害となった。

河川被害も101カ所、12,371百万円(災害査定決定額)に上る。

この破堤をもたらした洪水流量は、1,077立方メートル毎秒と推定されるが、現況河道流下能力950立方メートル毎秒(下流部)に比べてそれほど大きいものではなかったが、それでも、然別川上流部、西瓜幕地区未改修区間の河積狭窄部よりはんらんした水は、地形上、約12キロ下流の市街地にまで達した。また、改修区間内の堤防の裏側に回り、法先洗掘を生じさせた。

他方、特に未改修の上流部での縦横侵食は強烈で、大量の流下土石が生じ、それら土石が急流河川の流勢に押され、加速度的に流下して独特のエネルギーを蓄えながら洗掘と埋そくを繰り返しつつ、越水、洗掘、破堤をもたらしたものと考えられる。

河道内の災害は、前述のとおり、そのほとんどが河岸決壊であり、中下流部の既設護岸もほとんどが流失又は破壊し、また、上流部などでは、破堤や異常埋そく等により原形をとどめない区間もあるほどであった。



すっかり様相が変わってしまったシーシカリベツ川
(自然ランド)



水がひいたあとの畑には大小の石が多数残り
まるで‘砂砂利’のよう(笹川地区)



荒れ狂う濁流によって大きくえぐられた馬鈴しょ畑
(下鹿追地区)

■ 然別川既往主要洪水一覧表 ■

	<最大流量>	<3日雨量>
・大正11年8月	1,289m ³ /s	207ミリ
・昭和37年8月	641m ³ /s	153ミリ
・大正 8年9月	410m ³ /s	119ミリ
・昭和23年8月	409m ³ /s	120ミリ
・昭和32年8月	395m ³ /s	111ミリ
・昭和30年8月	379m ³ /s	110ミリ
・昭和 5年9月	340m ³ /s	107ミリ
・昭和11年7月	323m ³ /s	108ミリ
・昭和 3年8月	308m ³ /s	113ミリ
・昭和36年7月	303m ³ /s	139ミリ

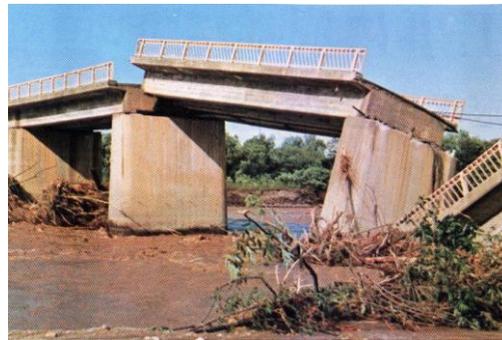
(m³/s=立方メートル毎秒)



瓜幕橋付近



危険を冒して畑や道路の冠水状況を調べて回る人たち(西瓜幕30線24号)



落橋した紅葉橋



平らだった路面も一夜のうちに凸凹になってしまった(瓜幕橋付近)

帯広開発建設部の資料によれば、然別川流域の大正8年以降、昭和55年以降の主要洪水は上表のとおりである。既往最大降水量は、大正8年の1,289立方メートル毎秒であり、今回の洪水流量(推定値)は、1,645立方メートル毎秒となり(流量はいずれも十勝川合流点におけるもの)第1位となる。

(全国防災協会発行「季刊防災」より記事抜粋)